

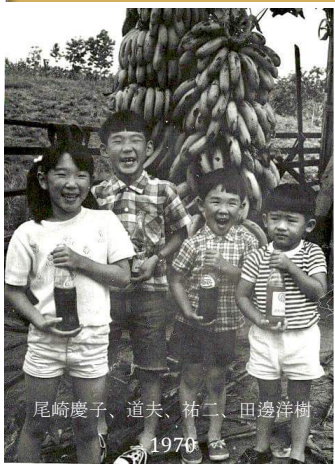


# PROGRAM NOTE

2020 年 4 月

## 田辺バナナ農園の今

2 代目農園主 田辺正裕



南米エクアドル・サントドミンゴの田辺バナナ農園訪問記を「アンデスの声」から放送していただいたのが 1995 年の 5 月でした。何とあれから四半世紀の月日があっという間に流れてしまい、状況も大きく変わりました。1963 年に開拓農業を手がけた両親は他界、私は現地の中央大学を卒業した後、父の農場を借りて自然循環型農法によるバナナ栽培に夢を託し、45 ヘクタールから始めたのですが現在では 350 ヘクタールとなり、従業員も約 550 人を抱え、全員正規雇用の大規模バナナ農園に育てることができました。

田辺農園は私が 2 世代目。68 歳ですが現役です。日本人としては 17 歳年の離れた弟の洋樹が手伝ってくれており、他 2 名の日本

人スタッフがバナナ栽培、経営に参加してくれています。また田辺農園バナナの輸出関連業務では、共同経営者である内田渥さんと長女直さんも加わって運営されています。正にファミリー農園で、みんなで仲良く働いています。1995 年はまだ小さなバナナ生産者で、エクアドル国内で現地輸出会社にバナナを販売するだけだったのが、2005 年から ANA グループ全日空商事会社が田辺農園バナナを全量取り扱うこととなり、田辺農園は独立して、独自でバナナを日本に輸出しています。日本での販売元は全日空商事の子会社である ANA フーズ社で、エクアドルからの田辺農園バナナ輸出量は 40 フィートの大型コンテナで毎週 20 本以上が日本に送り出されています。日本では「田辺農園バナナ」というブランドで販売されており、日本全国の各地代表的なスーパーマーケットに並んでいます。関東では、成城石井、マルエツ、イトーヨーカドー、ベルク、東急ストア、ライフ等々、またコンビニではローソンが全国展開をしています。

田辺農園は自然との共存共栄を理念とし、一般的な工業製品の栽培ではなく、昔ながらの農産物として出来るだけ自然な形で栽培することをモットーとしています。25 年前から行っていたミミズ堆肥は規模を拡大して引き続き行われていますし、廃棄バナナとパルミートの残渣で作る「ぼかし」という発酵堆肥、そして牛糞をベースとした液肥も自家製で作られます。田辺農園では規格外ではねられた廃棄バナナは全て堆肥に利用されて、また畑に還元されます。除草剤、化学肥料を使わない、いわゆる自然循環型農法を実践をしています。バナナの肥料からまたバナナが生まれる。バナナがバナナを育てているバナナなのです。だから、安全安心で美味しいバナナであることが言えると思います。この度、田辺農園バナナのロゴ、ラベルリニューアルを行い、3 月 13 日までアンケートキャンペーンを行いました。今後も皆様に親しまれる美味しいバナナ作りを続けてまいりますので何卒皆様のご支援のほど宜しくお願い致します。



田辺農園現地スタッフ

### サタデー・トーク

### バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
04月04日	「アンデスの声」北米リスナー 蓮子哲哉	04月05日	リスナーからの「お便り交換の時間」
04月11日	イースター特集：キリストの受難・十字架（前編）	04月12日	イースター特集：キリストの復活（後編）
04月18日	田辺バナナ園は今（1）	04月19日	リスナーからの「お便り交換の時間」
04月25日	田辺バナナ園は今（2）	04月26日	旧約聖書 創世記（11）

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3 形式）

放送時間：日本時間 午前 7 時半～8 時 15.410kHz （再放送） 午後 8 時～8 時 30 分 15.565kHz  
（米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信）

\*受信報告書をメールで送る場合：hcjbjapan.office@gmail.com

